

2.4 出典

2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。

2.1 論文・技術報告等

- 1) 福井恒明・岡田智秀 (2007) 土木学会デザイン賞における土木デザインの評価分析. 景観・デザイン研究論文集 No. 2:41-52.
- 2) 細木大輔・柏木亨・松江正彦 (2007) 植生基材吹付工施工後 3 ヶ月間の植生基材の耐侵食性. 日本緑化工学会誌 Vol. 33 (1) :9-14.
- 3) 細木大輔・中村勝衛・亀山章 (2008) ネット利用型の自然侵入促進工法による切土法面の緑化. 日本緑化工学会誌 Vol. 33 (3) :474-483.
- 4) 畠瀬頼子・小栗ひとみ・松江正彦 (2008) 木曾川中流域における植生変遷と特定外来生物オオキンケイギクの分布特性. ランドスケープ研究 Vol. 71 (5) :553-556.
- 5) 飯塚康雄 (2007) 機器による樹木腐朽診断. 樹木医学研究 Vol. 11 (3) :135-139.
- 6) 小栗ひとみ (2008) 道路事業における景観の環境影響評価手法. 環境アセスメント学会誌 Vol. 6 (1) :62-66.
- 7) 長濱庸介・松江正彦 (2008) 大規模壁面緑化による都市環境改善効果の把握. 日本緑化工学会誌 Vol. 33 (3) :492-497.

2.2 講演論文・要旨等

- 8) 福井恒明・角真規子・鈴木洋・兼子和彦 (2007) 景観整備事業の効果と評価手法に関する研究～横浜・汽道道をケーススタディとして～. 景観・デザイン研究講演集 No. 3:98-107.
- 9) 高松誠治・福井恒明 (2007) 英国建築都市環境委員会 (CABE) のデザインレビュー制度. 景観・デザイン研究講演集 No. 3:170-175.
- 10) 福井恒明・松江正彦・内藤充彦 (2007) 歴史的街路の印象に与える緑の導入効果に関する研究. 景観・デザイン研究講演集 No. 3:253-264.
- 11) 井本郁子・大江栄三・小栗ひとみ・畠瀬頼子・宇津木栄津子・松江正彦 (2007) 地形条件を利用した里山植物のハビタット推定 -カタクリ・イカリソウによるケーススタディ. 日本景観生態学会第 17 回福岡大会講演要旨集 pp23.

2.3 雑誌・特集記事等

- 12) 原田佳道・福井恒明 (2007) 「公共事業における景観アセスメント (景観評価) システム」の本格運用について. 建設マネジメント技術 2007 年 5 月号:46-50.
- 13) 飯塚康雄 (2007) 街路樹の危険性と診断機の開発. 都市緑化技術 No. 64:29-33.

- 14) 小林英之・小栗ひとみ (2007) 景観シミュレータ. 川の技術のフロント pp148-149.
- 15) 松江正彦 (2007) みどりの研究室① (国土技術政策総合研究所 緑化生態研究室). 都市緑化技術 No. 66:38.
- 16) 福井恒明 (2007) 景観アセスメントシステムを中心とした景観施策の現状と展望. 交通工学 Vol. 42 増刊号:29-34.
- 17) 園田陽一 (2007) 都市自然環境における野生哺乳類の生息地としての緑地の管理および配置に関する研究. 道路と自然 No. 137:28-30.
- 18) 畠瀬頼子・小栗ひとみ・松江正彦 (2007) 国営みちのく杜の湖畔公園における森林管理が林床植物の種多様性増加と開花に及ぼす効果と影響の分析. 土木技術資料 Vol. 49 (12) :58-63.
- 19) 園田陽一 (2008) 里山林とタヌキ 一里山における藪の意味とは一. 山林 平成 20 年 2 月号:44-47.
- 20) 松江正彦 (2008) コラム・会員の自慢 (国土技術政策総合研究所 緑化生態研究室). 日本緑化工学会誌 Vol. 33 (3) :510.